

推量與說話人判斷（補充）：だろう、のだろうか、に違いない、までもない、にすぎない

這一頁是 N3 主線之外的補充整理，集中處理一些和推量、主觀看法、判斷強度有關的表達。它們在讀解、聽解和作文都很常見，而且很適合和前面的「判斷與界線」頁互相對照。

■ 今課目標

- 用 `～だろう / ～でしょう` 表達推量與較保留的判斷。
- 用 `～のだろうか` 表達帶思考感的疑問。
- 用 `～に違いない` 表達強烈推定。
- 用 `～までもない` 表達『不必做到那一步』。
- 用 `～にすぎない` 表達『只不過是...而已』。

一、～だろう / ～でしょう：大概、應該

■ 最常見的推量句型

`～だろう`、`～でしょう` 用來表示說話人的推測、判斷或較保留的看法。`でしょう` 通常較禮貌，也常出現在詢問對方同意感的說法裡。

■ 例句

1. 明日はかなり暑くなるだろう。
→ 明天大概會變得很熱。
2. 彼はもう駅に着いているでしょう。
→ 他應該已經到車站了。
3. この資料だけでは、結論を出すのは難しいだろう。
→ 光靠這份資料，要下結論應該很難。

二、～のだろうか：到底是...呢

■ 不是單純問句，而是帶思考感的自問

「～のだろうか」常用來表達說話人對原因、背景、心理的思考。它比普通問句更帶內心探問、推理、反省的感覺。讀解裡很常出現。

■ 例句

1. 彼はなぜあんな言い方をしたのだろうか。
→ 他到底為什麼會那樣說呢？
2. 人はどうして慣れると感謝を忘れてしまうのだろうか。
→ 人為什麼一習慣就會忘記感謝呢？
3. あの時、別の選び方もあったのだろうか。
→ 那個時候，是否也有別的選擇呢？

三、～に違いない：一定是...、肯定是...

■ 比「～だろう」更強的推定

「～に違いない」表示說話人根據某些跡象，強烈相信某判斷是對的。它比「～だろう」更有把握，但仍然屬於推定，不是絕對事實陳述。

■ 例句

1. 電気がついていないから、彼はまだ帰っていないに違いない。
→ 燈沒亮，所以他一定還沒回來。
2. あんなに準備していたのだから、きつとうまくいくに違いない。
→ 既然準備了那麼多，一定會順利。
3. 彼女の表情を見ると、何か大事なことがあったに違いない。
→ 看她的表情，一定是發生了什麼重要的事。

四、～までもない：不用做到那一步

■ 明顯到不必多說、不必特地做

「～までもない」表示事情很明顯，或程度沒有高到需要做到前項。中文常可譯作『不必...也...』『用不著...』。

■ 例句

1. そんなことは言うまでもない。
→ 那種事根本不用特地說。
2. 駅まで近いから、タクシーを使うまでもない。
→ 離車站很近，用不著坐的士。
3. この問題は先生に聞くまでもなく、自分で調べれば分かる。
→ 這問題不必問老師，自己查就會懂。

五、～にすぎない：只不過是...而已

■ 把程度拉低，避免誇大

「～にすぎない」表示某事物的程度、價值或範圍其實沒有那麼大，只是『不過...而已』。它常用來矯正過度期待或過度解讀。

推量與界線補充對照

句型	判斷強度	核心意思
～だろう	中	大概、應該
～に違いない	較強	一定是
～までもない	界線判斷	不必做到那一步
～にすぎない	壓低程度	只不過是...而已

■ 例句

1. これは一つの案にすぎないから、まだ変更できる。
→ 這只不過是一個方案，所以還可以修改。
2. 彼の発言は個人的な感想にすぎない。
→ 他的發言只不過是個人的感想。
3. 失敗は終わりではなく、途中の一回にすぎない。
→ 失敗不是終點，只不過是過程中的一次而已。

■ 常見錯誤

- **×** 彼は来るに違いだろう。
○ **彼は来るだろう。／彼は来るに違いない。**
`だろう` 和 `に違いない` 不能硬疊。
- **×** なぜ彼は来ないだろうか。
○ **なぜ彼は来ないのだろうか。**
帶思考感的疑問更自然用 `のだろうか`。
- **×** こんなことは説明にすぎない。
○ **こんなことは説明するまでもない。**
要表達『不必解釋』，應用 `までもない`。
- **×** これは案までもない。
○ **これは一つの案にすぎない。**
`にすぎない` 才是『只不過是』。
- **×** 駅が近いから歩くだろう。
○ **駅が近いから、歩いて行くまでもない。／駅が近いから歩くだろう。**
若要表『沒必要』，不能只用推量句型。

總結輸出：寫一段短文，主題可以是『我對某件事的判斷』或『我最近想到的一個問題』，至少用三個本課句型。
